

連結納税の達人(平成25年度版 以降)fromキーパー財務22

運用ガイド

この度は、「連結納税の達人（平成25年度版 以降）fromキーパー財務22」をご利用いただき誠にありがとうございます。

「連結納税の達人（平成25年度版 以降）fromキーパー財務22」は、株式会社シスプラの「キーパー財務」の会計データを「連結納税の達人 [個社処理用]」に取り込むためのプログラムです。このマニュアルでは、「連結納税の達人（平成25年度版 以降）fromキーパー財務22」のインストール手順や操作手順について説明しています。



目次

1.対応製品	3
2.動作環境	4
3.インストール方法	5
1.「達人Cube」からアップデートする場合	5
2.「達人」公式サイトからファイルをダウンロードする場合	9
4.運用方法	11
1.「キーパー財務」と「連結納税の達人〔個社処理用〕」を同一コンピュータにインストールしている場合	11
2.「キーパー財務」と「連結納税の達人〔個社処理用〕」を別のコンピュータにインストールしている場合	12
5.操作方法	13
1.「キーパー財務」と「連結納税の達人〔個社処理用〕」を同一コンピュータにインストールしている場合	13
2.「キーパー財務」と「連結納税の達人〔個社処理用〕」を別のコンピュータにインストールしている場合	20
6.連動対象項目	31
「キーパー財務」から連動するデータ（連動元）	31
「連結納税の達人〔個社処理用〕」に連動するデータ（連動先）	32
貸借対照表	33
損益計算書	34
製造原価報告書	35
株主資本等変動計算書	36
個別注記表	37
損益金の処分表	38
7.アンインストール方法	39
8.著作権・免責等に関する注意事項	40

1.対応製品

「連結納税の達人（平成25年度版 以降）fromキーパー財務22」に対応するNTTデータの対応製品及び株式会社シスプラの対応製品は以下のとおりです。

会社名	対応製品
株式会社NTTデータ	連結納税の達人（令和03年度版）[個社処理用] Professional Edition
株式会社シスプラ	キーパー財務22



注意

本書は、出版時点での最新プログラムの画像を使用しています。

2.動作環境

「連結納税の達人(平成25年度版 以降)fromキーパー財務22」に必要な動作環境は「1.対応製品」(P.3)に記載の株式会社シスプラの「対応製品」と同様です。



注意

- 「連結納税の達人(平成25年度版 以降)fromキーパー財務22」のインストールやプログラムの起動を行うには、「1.対応製品」(P.3)に記載の株式会社シスプラの「対応製品」をインストールする必要があります。
- 「連結納税の達人(平成25年度版 以降)fromキーパー財務22」の起動中に、「キーパー財務」の起動、及びアンインストールはできません。

3.インストール方法

「連結納税の達人(平成25年度版 以降)fromキーパー財務22」をインストールする手順は、「達人Cube」からアップデートする方法と「達人」公式サイトからファイルをダウンロードする方法の2パターンあります。



注意

インストール作業中に「ユーザーアカウント制御」画面が表示されることがあります。その場合は「はい」ボタンをクリックして作業を進めてください（必要に応じてパスワードを入力します）。

1.「達人Cube」からアップデートする場合

1. 「達人Cube」にログインし、[アップデート]をクリックします。



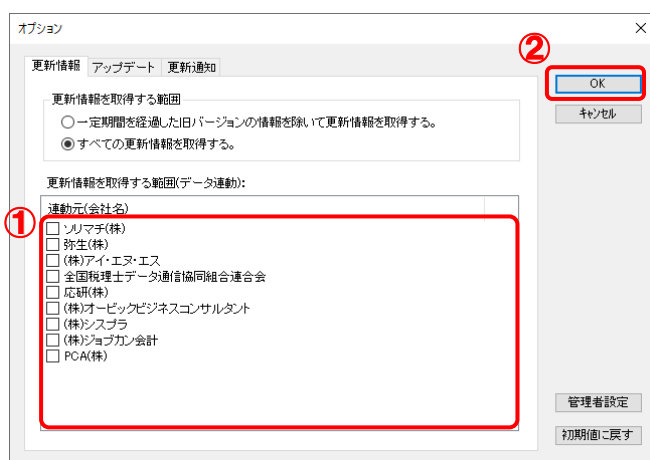
「アップデート」画面が表示されます。

2. ユーティリティ[オプション]をクリックします。



[オプション] 画面が表示されます。

3. [更新情報]タブー[更新情報を取得する範囲(データ連動)]において該当の[連動元(会社名)]をクリックしてチェックを付け(①)、[OK]ボタンをクリックします(②)。



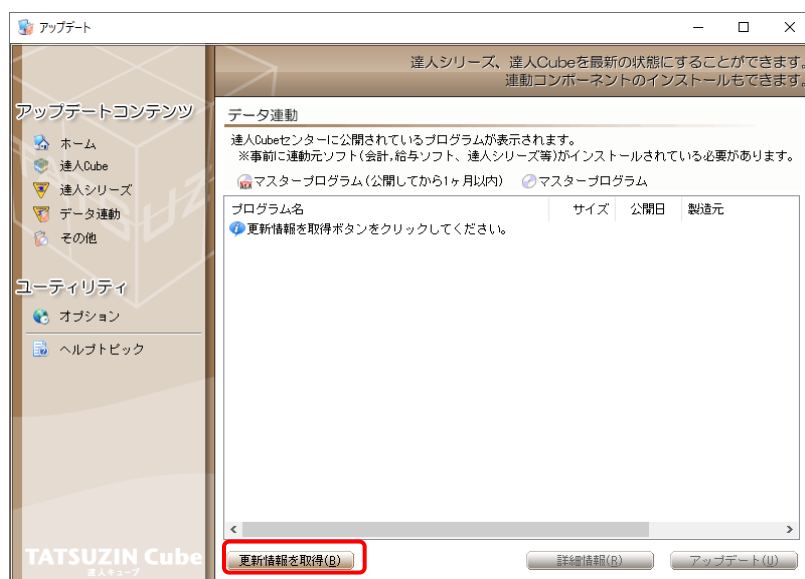
[アップデート] 画面に戻ります。

4. アップデートコンテンツ[データ連動]をクリックします。



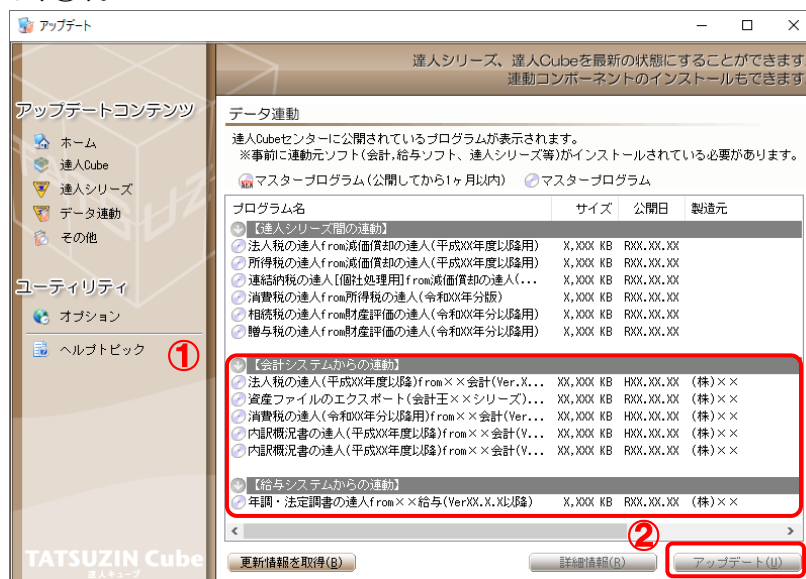
[データ連動] 画面が表示されます。

5. [更新情報を取得]ボタンをクリックします。



連動コンポーネントが表示されます。

6. 該当の連動コンポーネントをクリックして選択し(①)、[アップデート]ボタンをクリックします(②)。



[セットアップ] 画面が表示されます。

7. [次へ]ボタンをクリックします。

[インストール先の指定] 画面が表示されます。

※ インストール先を変更する場合は[参照] ボタンをクリックします。

8. インストール先のフォルダを指定し、[次へ]ボタンをクリックします。

[インストール準備完了] 画面が表示されます。

9. [インストール]ボタンをクリックします。

インストールが開始されます。

10. [セットアップウィザードの完了]画面が表示されたら、[完了]ボタンをクリックします。

以上で、「連結納税の達人(平成25年度版 以降) fromキーパー財務22」のインストールは完了です。

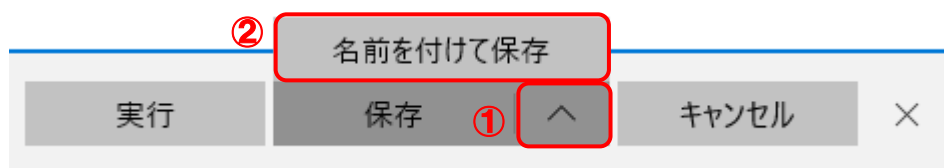
2.「達人」オフィシャルサイトからファイルをダウンロードする場合

1. 「達人」オフィシャルサイトの連動会計・給与ソフトの連動コンポーネントダウンロードページ
(https://www.tatsuzin.info/rendousoft/rendou_download.html)を開きます。



2. 該当の「達人シリーズ」のソフト名をクリックします。
該当の連動会計・給与ソフトメーカー一覧画面が表示されます。
3. 該当の連動会計・給与ソフトメーカーの[ダウンロード]をクリックします。
該当の連動会計・給与ソフトメーカーの最新の連動コンポーネント一覧画面が表示されます。
4. 該当の連動コンポーネントの[連動コンポーネントをダウンロードする]ボタンをクリックします。
画面の一番下に通知バーが表示されます。

- 5.** [保存]ボタンの右にある記号をクリックし(①)、表示されるメニュー[名前を付けて保存]をクリックします(②)。



[名前を付けて保存] 画面が表示されます。

- 6.** 保存する場所を指定し、[保存]ボタンをクリックします。

ファイルがダウンロードされます。

- 7.** 手順6でダウンロードしたファイルをダブルクリックします。

[セットアップ] 画面が表示されます。

- 8.** [次へ]ボタンをクリックします。

[インストール先の指定] 画面が表示されます。

※ インストール先を変更する場合は[参照] ボタンをクリックします。

- 9.** インストール先のフォルダを指定し、[次へ]ボタンをクリックします。

[インストール準備完了] 画面が表示されます。

- 10.** [インストール]ボタンをクリックします。

インストールが開始されます。

- 11.** [セットアップウィザードの完了]画面が表示されたら、[完了]ボタンをクリックします。

以上で、「連結納税の達人(平成25年度版 以降) fromキーパー財務22」のインストールは完了です。

4.運用方法

「連結納税の達人（平成25年度版 以降）fromキーパー財務22」は、「キーパー財務」のデータから中間ファイルを作成します。

データ取り込みの操作方法は、「キーパー財務」と「連結納税の達人〔個社処理用〕」を同一コンピュータにインストールしているかどうかで異なります。

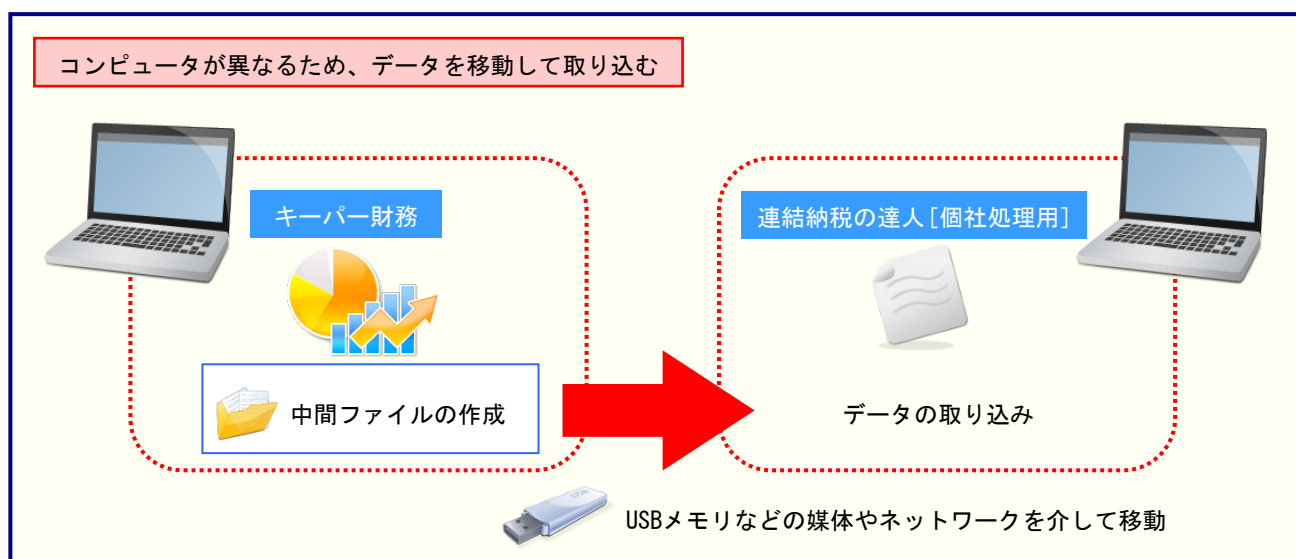
1.「キーパー財務」と「連結納税の達人〔個社処理用〕」を同一コンピュータにインストールしている場合

「連結納税の達人（平成25年度版 以降）fromキーパー財務22」で作成した中間ファイルを直接「連結納税の達人〔個社処理用〕」に取り込みます。



2.「キーパー財務」と「連結納税の達人[個社処理用]」を別のコンピュータにインストールしている場合

「キーパー財務」をインストールしているコンピュータで中間ファイルを作成し、「連結納税の達人[個社処理用]」をインストールしているコンピュータで取り込みます。



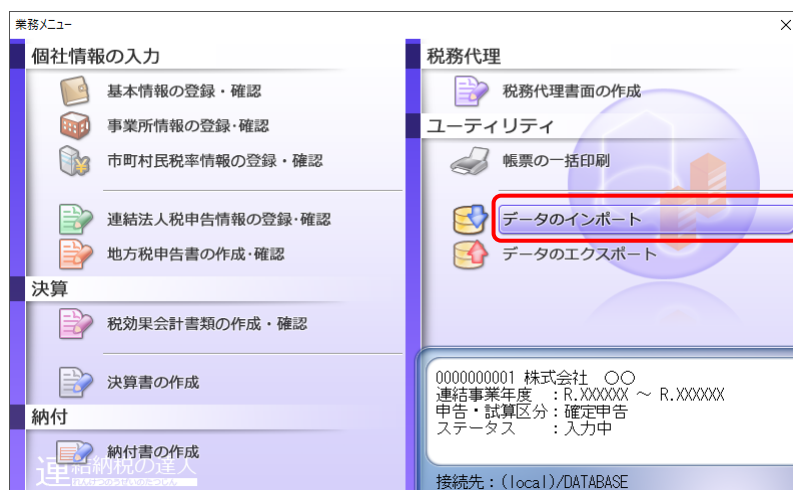
5.操作方法

「連結納税の達人（平成25年度版 以降）fromキーパー財務22」を使って、以下の手順で連動します。
事前に「6.連動対象項目」（P.31）を必ずお読みください。

操作手順は、「キーパー財務」と「連結納税の達人〔個社処理用〕」を同一コンピュータにインストールしているかどうかで異なります。

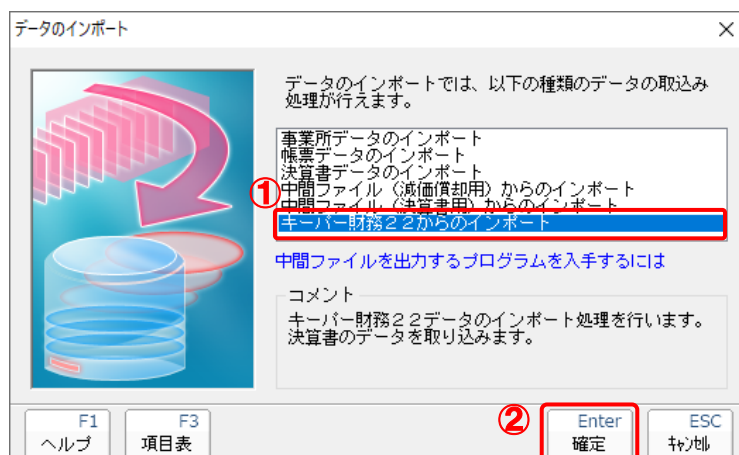
1.「キーパー財務」と「連結納税の達人〔個社処理用〕」を同一コンピュータにインストールしている場合

1. 「連結納税の達人〔個社処理用〕」を起動してデータを取り込む顧問先データを選択し、業務メニュー[データのインポート]をクリックします。



「データのインポート」画面が表示されます。

2. [キーパー財務22からのインポート]をクリックして選択し(①)、[確定]ボタンをクリックします(②)。



「ログイン」画面が表示されます。

3. 「キーパー財務」で登録したオペレータコードとパスワードを入力し(①)、[OK]ボタンをクリックします(②)。

ログイン

達人連動コンポーネント を利用するには、
オペレータコードとパスワードを入力して下さい。

コード: ① 123456789

パスワード: *****

☒ スタンダード
☐ クライアント(C/S)

サーバー設定

② OK キャンセル

[連結納税の達人（平成25年度版 以降）fromキーパー財務22] 画面が表示されます。

4. [次へ]ボタンをクリックします。

連結納税の達人 (平成25年度版 以降) from キーパー財務22

『キーパー財務22』から『連結納税の達人』へデータの連動を行います。

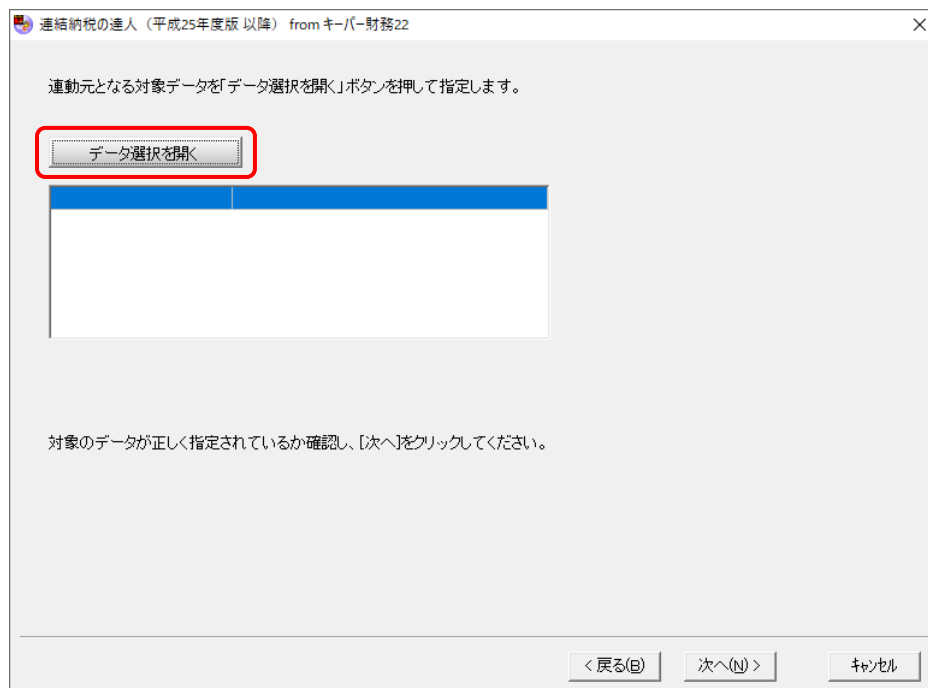
『キーパー財務22』が起動している場合は終了してください。

作成を始めるには[次へ]をクリックしてください。

次へ(N) > キャンセル

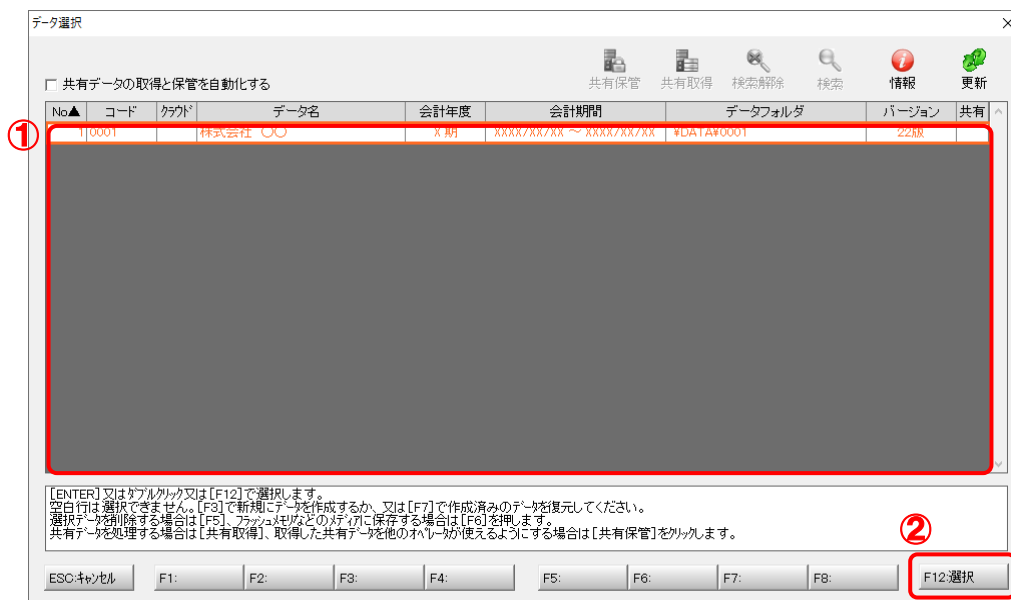
対象データの指定画面が表示されます。

5. [データ選択を開く]ボタンをクリックします。



[データ選択] 画面が表示されます。

6. 「連結納税の達人[個社処理用]」に取り込む「キーパー財務」のデータをクリックして選択し(①)、[F12:選択]ボタンをクリックします(②)。



対象データの指定画面に戻ります。

7. 対象データを確認し(①)、[次へ]ボタンをクリックします(②)。

連結納税の達人 (平成25年度版以降) from キーパー財務22

運動元となる対象データを「データ選択を開く」ボタンを押して指定します。

① データ選択を開く

データ区分	法人
会社名	株式会社 ○○
会計年度	x期
会計期間	XXXX/XX/XX ~ XXXX/XX/XX

対象のデータが正しく指定されているか確認し、[次へ]をクリックしてください。

②

< 戻る(B) > 次へ(N) > キャンセル

計算条件の指定画面が表示されます。

8. 計算条件を指定し(①)、[次へ]ボタンをクリックします(②)。

連結納税の達人 (平成25年度版以降) from キーパー財務22

計算条件を指定してください。

①

計算対象期間

4 5 6 ・ 7 8 9 ・ 10 11 12 ・ 1 2 3 決

期首月～6ヶ月目までを選ぶと上期、7ヶ月目以降を選ぶと通期として処理します。

消費税計算区分

☒ 税込み ☐ 税抜き

計算条件が正しく指定されているか確認し、[次へ]をクリックしてください。

②

< 戻る(B) > 次へ(N) > キャンセル

株主資本等変動計算書情報の設定画面が表示されます。

9. 株主資本等変動計算書の情報を設定し(①)、[次へ]ボタンをクリックします(②)。

連結納税の達人 (平成25年度版 以降) from キーパー財務22

☒ 株主資本等変動計算書を作成する

① 株主資本等変動計算書で使用する勘定科目と変動事由の割り当てを設定します。

[勘定科目]

キーパー財務22の印刷名称	法人税の達人で使用する勘定科目
資本金	資本金
新株式申込証拠金	※※ 独自科目 ※※
資本準備金	資本準備金
利益準備金	利益準備金
別途積立金	※※ 独自科目 ※※

[変動事由]

キーパー財務22の変動事由	法人税の達人で使用する変動事由
新株の発行	新株の発行
剰余金の配当	剰余金の配当
剰余金の配当に伴う積立	※※ 独自事由 ※※
当期純利益	当期純利益
自己株式の処分	自己株式の処分

設定方法について:
①設定したい項目行でマウスをダブルクリックすると「選択ダイアログ」が開きます。
②「選択ダイアログ」のリストより対象項目を選んでください。

設定した項目の削除について:
①削除したい項目行で[Delete]キーを押しってください。

☒ 総勘定元帳を作成する

以上の設定でよろしければ、[次へ]をクリックしてください。

②

確認画面が表示されます。

※ 全ての勘定科目と変動事由の割り当てが完了していないと先に進めません。

※ 達人側に受け渡しを行わない項目は、項目行をダブルクリックして表示される「使用できる勘定科目／変動事由」画面で、最下行の「※※ 割り当てしない ※※」をクリックして選択します。

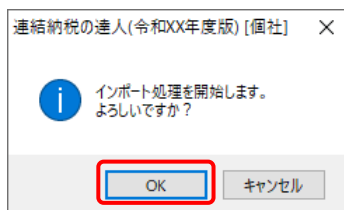
10. 内容を確認し(①)、[完了]ボタンをクリックします(②)。

[インポート対象設定] 画面が表示されます。

11. インポートの対象を設定し(①)、[実行]ボタンをクリックします(②)。

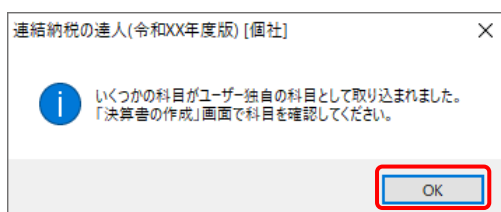
インポートの確認メッセージが表示されます。

12. [OK]ボタンをクリックします。



取込の確認メッセージが表示されます。

13. [OK]ボタンをクリックします。



[業務メニュー] 画面に戻ります。データの作成（中間ファイルの作成）が終了すると同時に、「連結納税の達人 [個社処理用]」にデータが取り込まれます。

以上で、データの取り込みは完了です。



注意

連動後には、「連結納税の達人 [個社処理用]」側で取込設定を行う必要があります。詳細な手順については『[連結納税の達人 \[個社処理用\] 運用ガイド](#)』－「付録」－「決算書を作成する」－「科目の取り込み設定を行う」をご確認ください。

2.「キーパー財務」と「連結納税の達人[個社処理用]」を別のコンピュータにインストールしている場合

1. Windowsのスタートメニュー[達人シリーズ]ー[連結納税の達人(平成25年度版 以降)fromキーパー財務22]をクリックします。

[ログイン] 画面が表示されます。

※ Windows 8.1の場合は、[アプリ] 画面に表示されている [連結納税の達人 (平成25年度版 以降) fromキーパー財務22] をクリックします。

2. 「キーパー財務」で登録したオペレータコードとパスワードを入力し(①)、[OK]ボタンをクリックします(②)。

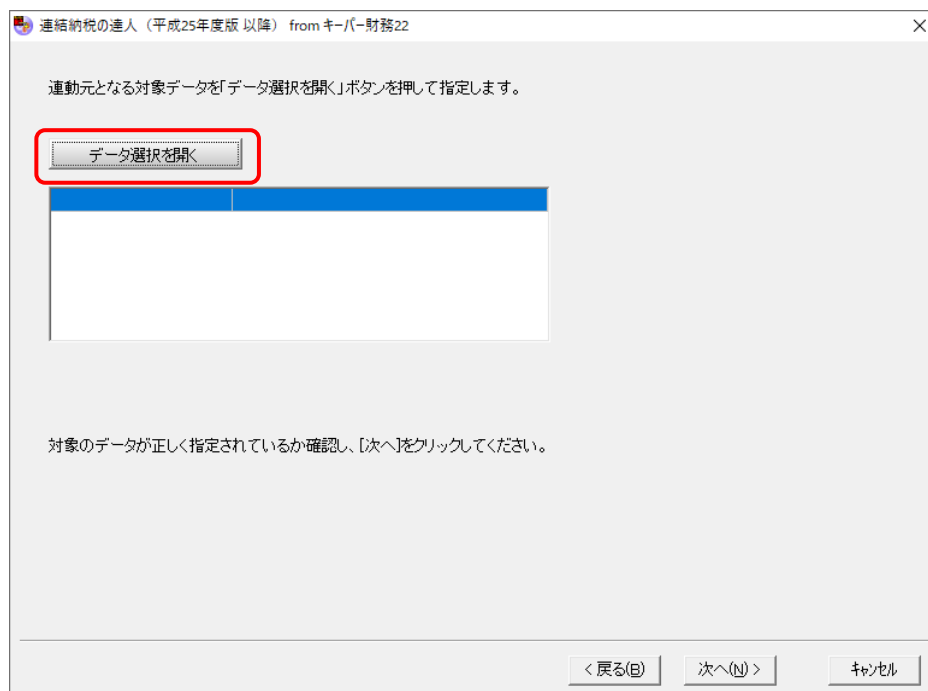
[連結納税の達人 (平成25年度版 以降) fromキーパー財務22] 画面が表示されます。

3. [次へ]ボタンをクリックします。



対象データの指定画面が表示されます。

4. [データ選択を開く]ボタンをクリックします。



[データ選択] 画面が表示されます。

5. 「連結納税の達人[個社処理用]」に取り込む「キーパー財務」のデータをクリックして選択し(①)、[F12:選択]ボタンをクリックします(②)。

データ選択

☐ 共有データの取得と保管を自動化する

共有保管 共有取得 検索解除 検索 情報 更新

No▲	コード	データ名	会計年度	会計期間	データフォルダ	バージョン	共有
1	0001	株式会社 ○○	X期	XXXX/XX/XX ~ XXXX/XX/XX	*DATA#0001	22版	

[ENTER]又はダブルクリック又は[F12]で選択します。
空白行は選択できません。[F3]で新規にデータを作成するか、又は[F7]で作成済みのデータを復元してください。
選択データを削除する場合は[F8]、フラッシュメモリなどのメディアに保存する場合は[F6]を押しします。
共有データを処理する場合は[共有取得]、取得した共有データを他のオペレータが使えるようにする場合は[共有保管]をクリックします。

ESC:キャンセル F1: F2: F3: F4: F5: F6: F7: F8: F12:選択

対象データの指定画面に戻ります。

6. 対象データを確認し(①)、[次へ]ボタンをクリックします(②)。

連結納税の達人 (平成25年度版 以降) from キーパー財務22

運動元となる対象データを「データ選択を開く」ボタンを押して指定します。

① データ選択を開く

データ区分	法人
会社名	株式会社 ○○
会計年度	X期
会計期間	XXXX/XX/XX ~ XXXX/XX/XX

対象のデータが正しく指定されているか確認し、[次へ]をクリックしてください。

②

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

計算条件の指定画面が表示されます。

7. 計算条件を指定し(①)、[次へ]ボタンをクリックします(②)。

連結納税の達人 (平成25年度版 以降) from キーパー財務22

計算条件を指定してください。

① 計算対象期間

4 5 6 ・ 7 8 9 ・ 10 11 12 ・ 1 2 3 決

期首月～6ヶ月目までを選ぶと上期、7ヶ月目以降を選ぶと通期として処理します。

消費税計算区分

☒ 税込み ☐ 税抜き

計算条件が正しく指定されているか確認し、[次へ]をクリックしてください。

②

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

株主資本等変動計算書情報の設定画面が表示されます。

8. 株主資本等変動計算書の情報を設定し(①)、[次へ]ボタンをクリックします(②)。

連結納税の達人 (平成25年度版 以降) from キーパー財務22

☒ 株主資本等変動計算書を作成する

① 株主資本等変動計算書で使用する勘定科目と変動事由の割り当てを設定します。

[勘定科目]

キーパー財務22の印刷名称	法人税の達人で使用する勘定科目
資本金	資本金
新株式申込証拠金	※※ 独自科目 ※※
資本準備金	資本準備金
利益準備金	利益準備金
別途積立金	※※ 独自科目 ※※

[変動事由]

キーパー財務22の変動事由	法人税の達人で使用する変動事由
新株の発行	新株の発行
剰余金の配当	剰余金の配当
剰余金の配当に伴う積立	※※ 独自事由 ※※
当期純利益	当期純利益
自己株式の処分	自己株式の処分

設定方法について:
①設定したい項目行でマウスをダブルクリックすると「選択ダイアログ」が開きます。
②「選択ダイアログ」のリストより対象項目を選んでください。

設定した項目の削除について:
①削除したい項目行で[Delete]キーを押してください。

☒ 総勘定元帳を作成する

以上の設定でよろしければ、[次へ]をクリックしてください。

②

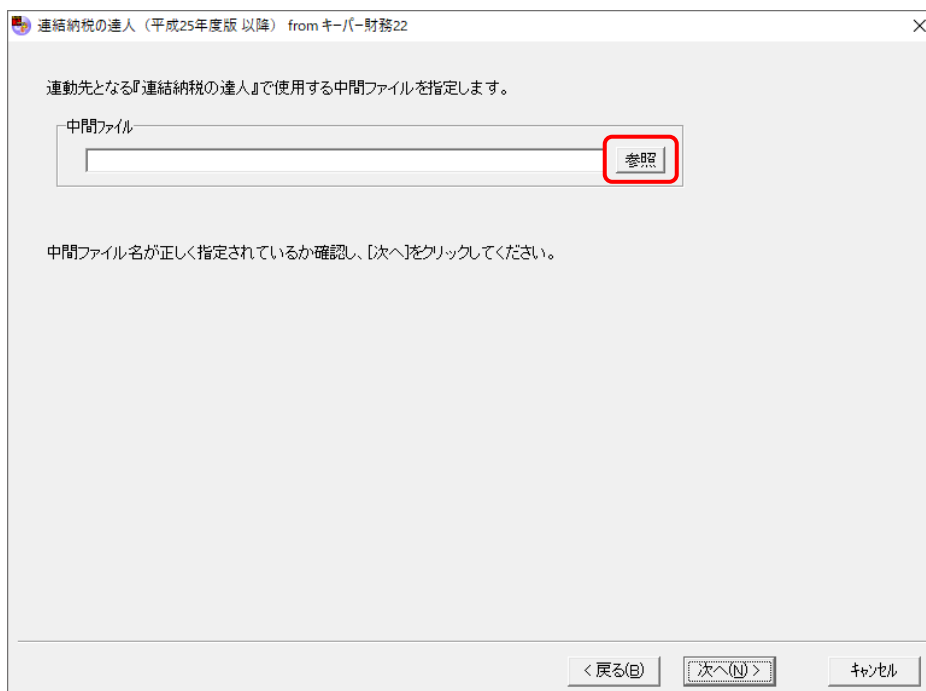
< 戻る(B) [次へ(N) > キャンセル

中間ファイルの指定画面が表示されます。

※ 全ての勘定科目と変動事由の割り当てが完了していないと先に進めません。

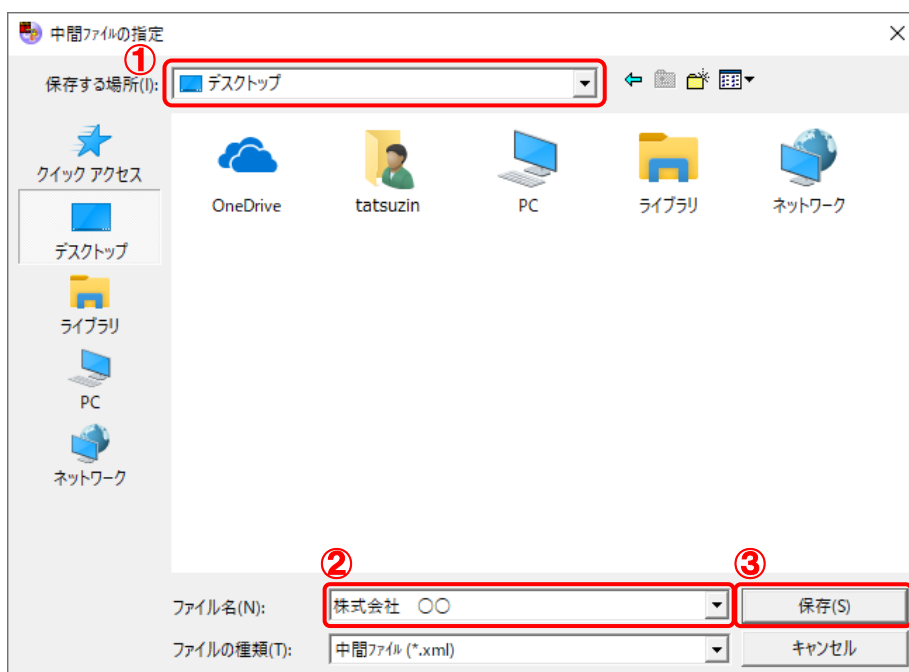
※ 達人側に受け渡しを行わない項目は、項目行をダブルクリックして表示される「使用できる勘定科目／変動事由」画面で、最下行の「※※ 割り当てしない ※※」をクリックして選択します。

9. [参照]ボタンをクリックします。



[中間ファイルの指定] 画面が表示されます。

10. [保存する場所](①)と[ファイル名]を指定し(②)、[保存]ボタンをクリックします(③)。



中間ファイルの指定画面に戻ります。

※ 出力先のファイル拡張子にはxmlを指定してください。

11. [中間ファイル]を確認し(①)、[次へ]ボタンをクリックします(②)。

運動先となる『連結納税の達人』で使用する中間ファイルを指定します。

① 中間ファイル
C:\Users\tatsuzin\Desktop\株式会社 〇〇.xml

参照

中間ファイル名が正しく指定されているか確認し、[次へ]をクリックしてください。

②

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

確認画面が表示されます。

12. 内容を確認し(①)、[完了]ボタンをクリックします(②)。

以上で設定が完了しました。
内容を確認し、よろしければ[完了]をクリックしてください。

①

【運動元情報】
会社名 : 株式会社 〇〇
会計年度 : X 期
会計期間 : XXXX年XX月XX日 ~ XXXX年XX月XX日

【計算条件】
計算対象期間 : XXXX年XX月 ~ XX年XX月
消費税計算区分: 税込み

【中間ファイル】
C:\Users\tatsuzin\Desktop\株式会社 〇〇.xml

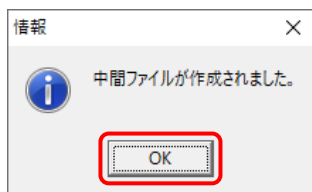
【制約事項】
1) 法人決算書>個別注記表タブ>テンプレートで「達人運動」選択時に限り、
個別注記表の運動を行います。

②

< 戻る(B) 完了(F) キャンセル

終了画面が表示されます。

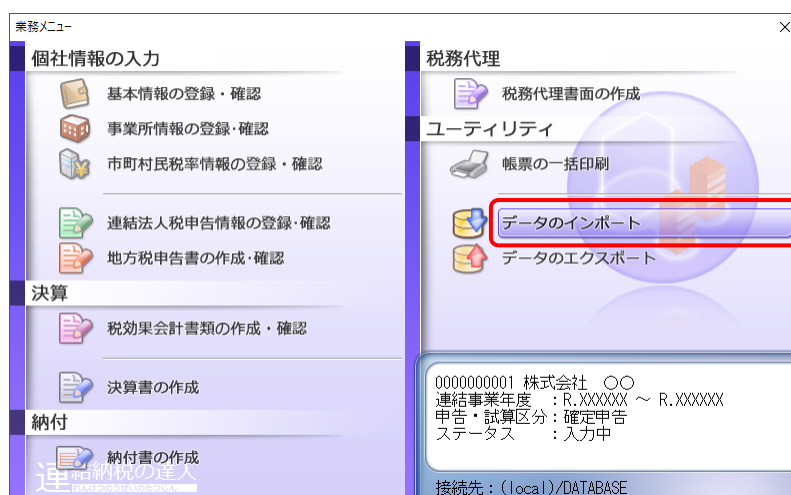
13. [OK]ボタンをクリックします。



手順10で指定した「保存する場所」に、中間ファイルが作成されます。

14. 作成された中間ファイルを、USBメモリなどの媒体やネットワークを介して「連結納税の達人[個社処理用]」をインストールしているコンピュータに移動します。

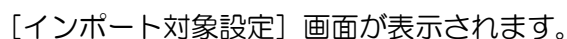
15. 「連結納税の達人[個社処理用]」を起動して中間ファイルを取り込む顧問先データを選択し、業務メニュー[データのインポート]をクリックします。



「データのインポート」画面が表示されます。



17. 作成した中間ファイルをクリックして選択し(①)、[開く]ボタンをクリックします(②)。



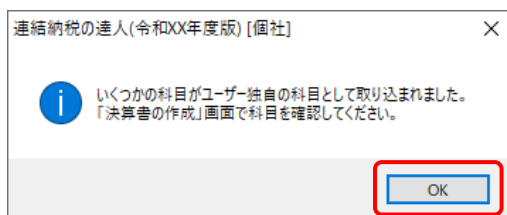
18. インポートの対象を設定し(①)、[実行]ボタンをクリックします(②)。

インポートの確認メッセージが表示されます。

19. [OK]ボタンをクリックします。

取込の確認メッセージが表示されます。

20. [OK]ボタンをクリックします。



[業務メニュー] 画面に戻ります。

以上で、データの取り込みは完了です。



注意

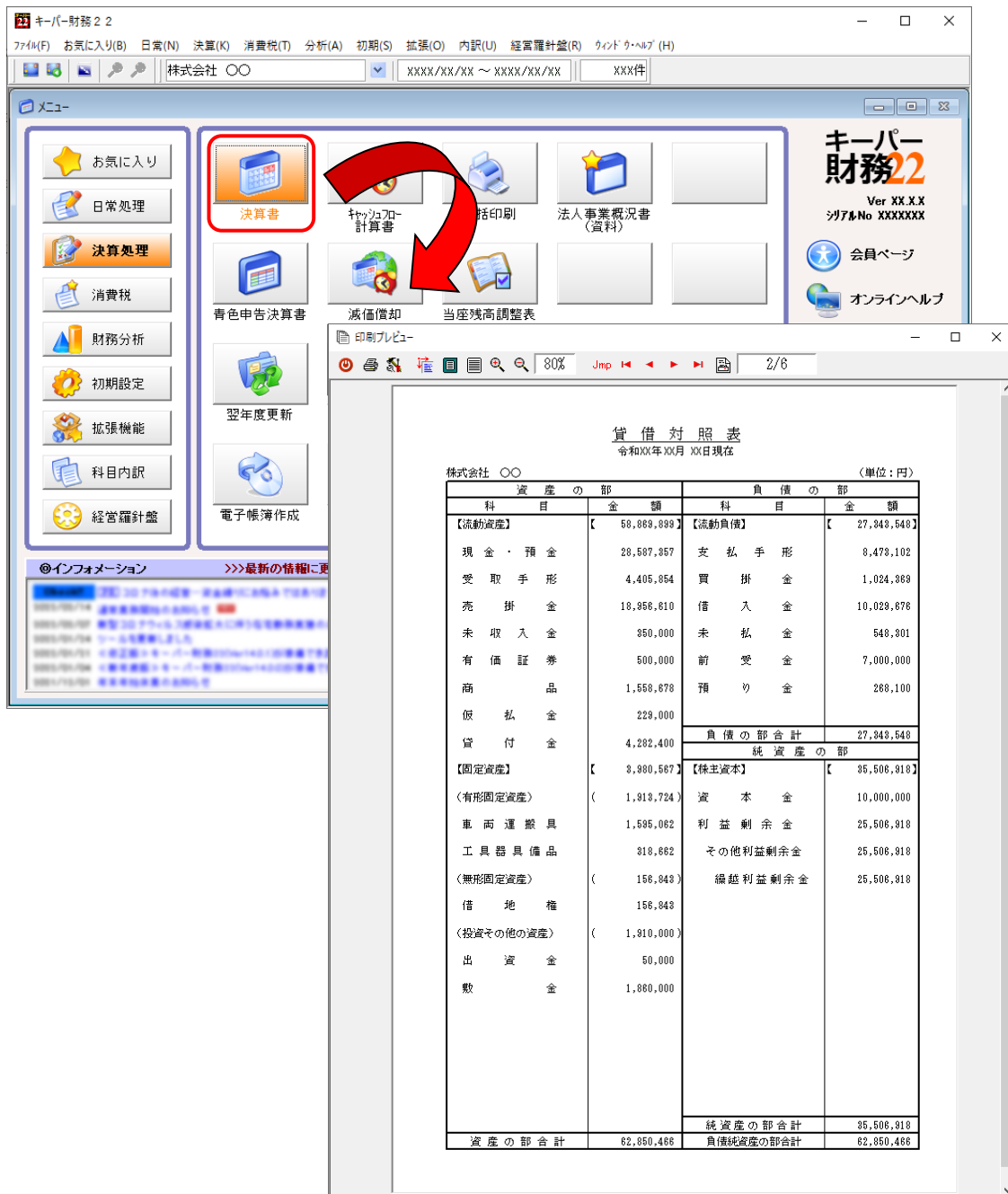
連動後には、「連結納税の達人 [個社処理用]」側で取込設定を行う必要があります。詳細な手順については『[連結納税の達人 \[個社処理用\] 運用ガイド](#)』－「付録」－「決算書を作成する」－「科目の取り込み設定を行う」をご確認ください。

6.連動対象項目

「連結納税の達人（平成25年度版 以降）fromキーパー財務22」では、「キーパー財務」の決算書よりデータを取り込みます。

「キーパー財務」から連動するデータ(連動元)

「キーパー財務」からはメニュー「決算処理」－「決算書」のデータが連動します。



The screenshot shows the Keipai Financial 22 application window. On the left is a menu with '決算処理' (Financial Statement Processing) highlighted. A red arrow points from the '決算書' (Financial Statement) icon in this menu to the '貸借対照表' (Balance Sheet) table shown in the main window. The table is titled '貸借対照表' and '令和XX年XX月XX日現在' (As of XX month, XX year, Reiwa).

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	50,069,999	【流動負債】	27,949,540
現金・預金	28,587,957	支払手形	8,478,102
受取手形	4,405,854	買掛金	1,024,869
売掛金	18,956,810	借入金	10,029,876
未収入金	350,000	未払金	540,301
有価証券	500,000	前受金	7,000,000
商品	1,558,878	預り金	268,100
仮払金	229,000		
貸付金	4,282,400	負債の部合計	27,949,540
【固定資産】	9,980,587	純資産の部	
有形固定資産	1,913,724	【株主資本】	95,506,918
車両運搬具	1,595,062	資本金	10,000,000
工具器具備品	318,662	利益剰余金	25,506,918
無形固定資産	156,849	その他利益剰余金	25,506,918
借地権	156,849	繰越利益剰余金	25,506,918
投資その他の資産	1,910,000		
出資金	50,000		
敷金	1,860,000		
資産の部合計	62,850,466	純資産の部合計	95,506,918
		負債純資産の部合計	62,850,466

「連結納税の達人[個社処理用]」に連動するデータ(連動先)

「連結納税の達人[個社処理用]」に連動するデータは以下のとおりです。次ページ以降の各画面の太枠部分が連動対象項目です。

決算書

貸借対照表
損益計算書
製造原価報告書
株主資本等変動計算書
個別注記表
損益金の処分表



注意

- ・ 「個別注記表」は、「キーパー財務」の〔法人決算書〕画面－〔個別注記表〕タブ－〔テンプレート〕で〔達人連動〕を選択している場合のみ連動対象となります。
- ・ 「損益金の処分表」は、医療法人のデータの場合のみ連動可能です。

貸借対照表

決算書の作成

貸借対照表

損益計算書

製造原価報告書

株主資本等変動計算書

個別注記表

科目	金額	加算減算
資産の部		
流動資産		
現金及び預金		
受取手形及び売掛金		
受取手形		
売掛金		
割賦売掛金		
売買目的有価証券及び1年以内に満期の到来する有価証券		
有価証券		
親会社株式		
金銭の信託		
営業投資有価証券		
たな卸資産		
商品		
製品、副産物及び作業くず		
製品		
商品及び製品		
半製品		
原料及び材料		
原材料		
原材料及び貯蔵品		
仕掛品及び半成工事		
仕掛品		

: ユーザーが独自に追加した科目等
☒ 金額又は値がない法令及び規則に記載のない科目を表示しない
☐ 金額又は値がない科目を表示しない
☐ ユーザーが独自に追加した科目のみを表示する

F1 ヘルプ

F2 閉じる

F3 検索

F4 利益処分

F5 企業情報

F6 科目追加

F7 科目削除

F8 科目変更

F9 印刷

F11 取込設定

F12 漢字

Enter 選択

損益計算書

決算書の作成

貸借対照表 損益計算書 製造原価報告書 株主資本等変動計算書 個別注記表

科目	金額	加算減算
営業活動による収益		
売上高		
売上高		
営業活動による費用・売上原価		
売上原価		
売上原価		
売上総利益又は売上総損失 (△)		
販売費及び一般管理費		
販売費及び一般管理費		
営業利益又は営業損失 (△)		
全事業営業利益又は全事業営業損失 (△)		
営業外収益		
受取利息		
有価証券利息		
受取配当金		
仕入割引		
投資不動産賃貸料		
還付消費税等		
負ののれん償却額		
持分法による投資利益		
為替差益		
有価証券売却益		
投資有価証券売却益		

: ユーザーが独自に追加した科目等

☒ 金額又は値がない法令及び規則に記載のない科目を表示しない

☐ 金額又は値がない科目を表示しない

☐ ユーザーが独自に追加した科目のみを表示する

製造原価報告書

決算書の作成

貸借対照表

損益計算書

製造原価報告書

株主資本等変動計算書

個別注記表

科目	金額	加算減算
仕入原価		
期首たな卸高		
商品仕入高		
仕入値引・戻し高		
合計		
期末たな卸高		
材料費		
期首原材料たな卸高		
当期原材料仕入高		
非課税原材料仕入		
薬品仕入高		
診療材料仕入高		
給食材料仕入高		
医療消耗備品仕入高		
原材料仕入値引戻し高		
原材料割戻し高		
その他の原材料仕入高		
合計		
期末原材料たな卸高		
主要材料費		
補助材料費		
労務費		
建設費		

 : ユーザーが独自に追加した科目等
☒ 金額又は値がない法令及び規則に記載のない科目を表示しない
☐ 金額又は値がない科目を表示しない
☐ ユーザーが独自に追加した科目のみを表示する

F1 ヘルプ

F2 閉じる

F3 検索

F4 利益処分

F5 企業情報

F6 科目追加

F7 科目削除

F8 科目変更

F9 印刷

F11 取込設定

F12 漢字

Enter 選択

株主資本等変動計算書

決算書の作成

貸借対照表 損益計算書 製造原価報告書 株主資本等変動計算書 個別注記表

検索

科目	金額
株主資本	
資本金	
当期首残高	
当期変動額	
新株の発行	
当期変動額合計	
当期末残高	
資本剰余金	
資本準備金	
当期首残高	
当期変動額	
新株の発行	
当期変動額合計	
当期末残高	
その他資本剰余金	
当期首残高	
当期変動額	
剰余金〈その他資本剰余金〉の配当	
自己株式の処分	
自己株式の消却	
当期変動額合計	
当期末残高	
資本剰余金合計	

☐ : ユーザーが独自に追加した科目等
☒ 金額又は値がない法令及び規則に記載のない科目を表示しない
☐ 金額又は値がない科目を表示しない
☐ ユーザーが独自に追加した科目のみを表示する

F1 ヘルプ
 F2 閉じる
 F3 検索
 F4 利益処分
 F5 全計算
 F6 科目追加
 F7 科目削除
 F8 科目変更
 F9 印刷
 F11 取込設定
 F12 漢字
 Enter 選択

個別注記表

決算書の作成

貸借対照表

損益計算書

製造原価報告書

株主資本等変動計算書

個別注記表

検索

注記事項	設定内容
継続企業の前提に関する注記	
重要な会計方針に係る事項に関する注記	
資産の評価基準及び評価方法	
有価証券の評価基準及び評価方法	
たな卸資産の評価基準及び評価方法	
固定資産の減価償却の方法	
引当金の計上基準	
収益及び費用の計上基準	
その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項	
金利の取得原価算入	
その他	
項目名	
内容	
会計処理の原則又は手続の変更	
表示方法の変更	
貸借対照表に関する注記	
担保資産及び担保付債務	
資産の部から直接控除した貸倒引当金	
流動資産	
投資その他の資産	
有形固定資産の減価償却累計額	
保証債務額	
受取手形割引高	

📖

ユーザーが独自に追加した科目等

☒ 金額又は値がない法令及び規則に記載のない科目を表示しない

☐ 金額又は値がない科目を表示しない

☐ ユーザーが独自に追加した科目のみを表示する

F1ヘルプ

F2閉じる

F3検索

F4利益処分

F5企業情報

F6科目追加

F7科目削除

F8科目変更

F9印刷

F11取込設定

F12漢字

Enter選択

損益金の処分表

利益金処分計算書

損益金の処分表の設定

表題: 利益金処分計算書

株主総会承認日: 年 月 日

取締役
取締役報告日: 年 月 日

役職名	氏名

監査役
監査役報告日: 年 月 日

役職名	氏名

ヘルプ F1
F12 漢字
Ctrl+ 確定
ESC キャンセル

損失金処分計算書

損益金の処分表の設定

表題: 損失金処分計算書

株主総会承認日: 年 月 日

取締役
取締役報告日: 年 月 日

役職名	氏名

監査役
監査役報告日: 年 月 日

役職名	氏名

ヘルプ F1
F12 漢字
Ctrl+ 確定
ESC キャンセル

7.アンインストール方法

「連結納税の達人（平成25年度版 以降）fromキーパー財務22」をコンピュータからアンインストールするには、以下の手順で行います。



注意

アンインストール作業中に「ユーザーアカウント制御」画面が表示されることがあります。その場合は「はい」ボタンをクリックして作業を進めてください（必要に応じてパスワードを入力します）。

1. Windowsのスタートメニュー[Windowsシステムツール]－[コントロールパネル]をクリックします。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

※ Windows 8.1の場合は、「アプリ」画面に表示されている「連結納税の達人（平成25年度版 以降）fromキーパー財務22」を右クリック－「アンインストール」をクリックし、手順3に進みます。

2. 「プログラムのアンインストール」をクリックします。

「プログラムのアンインストールまたは変更」画面が表示されます。

※ 「コントロールパネル」画面をアイコン表示にしている場合は、「プログラムと機能」をクリックします。

3. 「連結納税の達人(平成25年度版 以降)fromキーパー財務22」をクリックして選択し、「アンインストール」をクリックします。

確認画面が表示されます。

4. 「はい」ボタンをクリックします。

終了画面が表示されます。

5. 「OK」ボタンをクリックします。

以上で、「連結納税の達人（平成25年度版 以降）fromキーパー財務22」のアンインストールは完了です。

8.著作権・免責等に関する注意事項

- ・ 「連結納税の達人(平成25年度版 以降)fromキーパー財務22」のソフトウェア製品全体の著作権、工業所有権の一切の知的財産権は株式会社シスプラに帰属するものとします。
- ・ 「連結納税の達人(平成25年度版 以降)fromキーパー財務22」の複製物(バックアップ・コピー)は、不慮の事故に備えて1部のみ作成することができます。
- ・ 「連結納税の達人(平成25年度版 以降)fromキーパー財務22」を使用した結果の損害及び影響について、原因のいかんを問わず、弊社及び株式会社シスプラは一切の賠償の責任を負いません。
- ・ 「連結納税の達人(平成25年度版 以降)fromキーパー財務22」のプログラム及びドキュメント等の一部または全部をどのような場合でもその形態を問わず無断で解析・改造・配布等を行うことはできません。
- ・ 「連結納税の達人(平成25年度版 以降)fromキーパー財務22」のソフトウェア製品仕様は、事前の通知なしに変更することがあります。

**連結納税の達人(平成25年度版 以降)fromキーパー財務22
運用ガイド**

2022年2月26日初版
